

オプトアウト用資料

研究課題名「経管栄養施行時の下痢対応について～CDtoxin 検査の意義を考える～」で、患者さんの情報を研究に利用することについてのお願いとお知らせ

この度当院では「経管栄養施行時の下痢対応について～CDtoxin 検査の意義を考える～」という研究を行うことになりました。

本研究の目的は、院内における経管栄養施行患者さんの下痢対応の妥当性を評価することで、現状の問題点を把握し今後の対策を講じるためです。

【調査方法】

2017年4月1日から2018年3月31日に経管栄養施行中にCDtoxin検査を実施した患者さんの栄養療法の施行内容、医薬品の投薬状況、検査結果などを用いた調査研究です。

【個人情報の管理について】

患者さんの氏名やIDなど個人情報は使用しません。また、本研究の実施過程及びその結果が学会や医学雑誌に発表される場合でも、患者さんを特定できる情報は一切使用しません。

【利益と不利益】

本研究は、診療録と看護記録、細菌検査データから情報を抽出し解析を行う研究であり、介入及び侵襲を伴わないことから、研究対象者に生じる負担及び危険性はありません。

ご質問等がございましたら下記までお尋ねください。

【この研究に関するお問い合わせ先】

研究課題名：経管栄養施行時の下痢対応について～CDtoxin 検査の意義を考える～

研究代表者名：製鉄記念八幡病院 薬剤部 和田 朋子

問い合わせ先：社会医療法人製鉄記念八幡病院 薬剤部 093-671-9604